

2017年4月24日

## HPV 試料採取方法について

日本歯科医学会プロジェクト研究  
「口腔疾患に対する禁煙の効果」多施設共同研究  
共同研究施設代表各位

「口腔疾患に対する禁煙の効果」多施設共同研究にご参加いただき誠に有難うございます。研究で実施していただいておりますヒトパピローマウイルス（HPV）試料採取方法についてご連絡させていただきます。

現在頬粘膜から歯間ブラシで細胞を採取していただいておりますが、全般的に採取細胞数が少なく、DNA 収量も少ない症例が多いようです。

つきましては、研究ホームページの「HPV サンプル採取方法について」(<http://www.jamfi.net/tisod/document/index.html>) を再度ご熟読いただき、検体採取の際は以下のことにご配慮お願いいたします。

1. ブラシを回転させてブラシ全体を使用する
2. ブラシで擦る場所をまんべんなく広く取る
3. 左右の頬粘膜を10回ずつしっかり擦る
4. 保存液の入ったチューブの内側の壁に当てた状態で10回以上回し、その後、さらにブラシを軽くすすぐ

以上よろしくお願ひ申し上げます。

ご質問、お問い合わせ先

代表学会：公益社団法人日本顎顔面インプラント学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝 5-29-22-805

TEL：03-3451-6916

FAX：03-5730-9866

E-mail：jamioffice@gmail.com